

# ディスカッションテーマ4

## 仕様書のレベル感

# 要求仕様書の作成

## 要求仕様書の作成にはどの程度の労力がかかるのか

「要求仕様書」は、システムに対して病院が要求する事項を記載する資料です。その作成プロセスは、日常業務では意識しない(例えば以下の様な)事項を改めて考える非常に良い機会でもあります。

- ・ 今後の国や地域における政策の方向性から、当院に必要なシステム、機能は何か
- ・ 病院の経営課題に照らして、必要なシステム、機能は何か
- ・ 暗黙のルールになっている病院独自の業務フローや潜在的課題はないか、その解決に資するシステム、機能は何か
- ・ 医療業界全体のトレンドや学会の制度等へ適応を考慮して、必要なシステム、機能は何か

しかし現場の病院職員にとっては、慣れないシステム独特の用語に向き合うことを余儀なくされ、日常業務との兼務で長時間の残業が必要になるケースも多くあります。ある事例では、医事会計システムの要求仕様書の作成に137時間が費やされました。

したがって前もって作業内容が見える化し、適切な作業量を見積もることで、適切な人員配置や労務管理ができるように考慮できることが望まれます。

では実際に要求仕様書を作成する際に、どのような作業を実施し、どれだけの時間がかかるのでしょうか。電子カルテシステムを想定して洗い出してみましよう。

### 検討の視点

- ◆ どんな情報を元にして作成するか？
  - ・ 機能要求仕様の作成に際して、新たに導入するシステムの概要や、既存システムの最新機能をどの様に仕様書の作成担当者に認識してもらうか？
- ◆ どの部署が何人程度で実施する作業か？現場の職員か、情報部門か。
- ◆ システムの機能以外の要求については、どの様に検討するか？

### もしお時間があれば、こんなことも考えてみてください

- ◆ どの程度の粒度で記載すべきか？
  - ・ 例えば、詳細に機能要求を記載しても、パッケージに機能が無い場合は要求は満たされず無駄になるのか？
  - ・ 優先度は設定すべきか？システム全体で相対的に公平な設定は可能なのか？それを調達時の評価に使用するか？
  - ・ 選定方法(プロポーザルか)によって、上記は変えるべきか？

# 要求仕様書の作成

要求仕様書の作成プロセスを書き出し、作業ボリュームを見積もってください

大項目	作業項目	作業時間小計
ヒアリング		
叩き台の作成		
システムデモ		
病院見学		
叩き台の修正		
ハードウェア要件の確認		
意見招請の実施／まとめ仕様書の最終化		
	・ 合計	時間